

デュピクセント®の治療生活はサポートが充実



自己注射の方法や、治療費に関するご質問など、わからないことがあればデュピクセント®相談室へお電話ください！



こちらから
予約も
できます

デュピクセント®相談室



0120-50-4970

ゴ ー ヨ ク ナ レ

1 操作方法へのご質問
24時間365日

2 医療費助成制度へのご質問
平日・土 9:00~21:00
(日・祝休み)

※2でご提供するサービスは医療費助成制度をもととした医療費の目安をご案内するもので、医療行為や治療内容に関するご相談に対応するものではありません。また、医療費助成については自治体ごとに異なりますので、お住まいの市区町村へお問い合わせください。

※デュピクセント®相談室では、応対品質の向上を目的として通話を録音しています。あらかじめご了承ください。

デュピクセント®を
使用される患者さん向け
ウェブサイト



<https://www.support-allergy.com>

デュピクセント®の使い方・Q&Aなど
治療に役立つ情報を紹介しています。

デュピクセント®を
使用される患者さんの
ためのアプリ



リマインダー機能や注射ガイドで
患者さんの治療生活をサポートします。

サノフィ株式会社
〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

リジェネロン・ジャパン株式会社
〒105-5518
東京都港区虎ノ門二丁目6番1号

第10版

デュピクセント®を使用される 鼻茸を伴う 慢性副鼻腔炎患者さんへ

【監修】獨協医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 名誉教授
春名 眞一 先生



English



Please scan the
QR code for this
material in English.

あなたの治療ゴール

慢性副鼻腔炎は、副鼻腔に炎症をきたす慢性の疾患です。

慢性副鼻腔炎の中には、治りにくいタイプがあり、従来の薬物治療や手術を行っても再発を繰り返すことがあります。

デュピクセント®は、これまでのお薬とは異なるメカニズムで働くタイプのお薬です。

これまでの治療ではうまくコントロールできなかった方でも、症状を改善し、維持する効果が期待できます。

この冊子では、**デュピクセント®**の特徴や使い方、副作用について解説しています。

わからないことや不安なことがあれば、遠慮せずに主治医や看護師、薬剤師にご相談ください。

慢性副鼻腔炎治療のゴールは、「鼻の症状がコントロールされた状態を維持し、健康な人と変わらない日常生活を送る」ことです。

あなたの治療ゴール(鼻の症状が治まった後に望みたいこと)はどのようなことでしょうか？

あなたの治療ゴールを、こちらに書いてみましょう。

目次

あなたの治療ゴール	3
鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の症状と疾病負荷(生活での困りごと)	4
鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の炎症と種類	6
鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎では鼻茸が再発しやすい	7
あなたの鼻・副鼻腔で起きていること	8
デュピクセント®の働き	9
デュピクセント®の効果	10
デュピクセント®による治療を受けることができる方	11
デュピクセント®の治療の進め方	12
デュピクセント®の安全性について	14
喘息等のアレルギー性疾患をお持ちの方への注意点	16
「治療日誌」をつけましょう	17
デュピクセント®をもっと知る	18
患者さんが利用できる医療費制度のご紹介	19
医療費の自己負担額を軽減できる制度について知っておきましょう	20
指定難病に対する医療費助成制度	22
デュピクセント®を使用した場合の自己負担額(モデルケース)	27
デュピクセント®による治療に関するQ&A	28
これからデュピクセント®をはじめめる患者さんのためのサポート資材	30

治療ゴールの例

夜、ぐっすり眠れる



匂いを感じられる



食事が楽しい



仕事や勉強に集中できる



鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の症状と疾病負荷(生活 での困りごと)

鼻づまり



●睡眠がとれない
症状が重いと精神的にも不安定に



●鼻づまりや睡眠不足で
集中力が低下する(車の
運転も危ない)



●鼻閉がひどいときに運動すると
すぐに息が上がってしまう
趣味のテニスでリフレッシュでき
ず気分も下がりがち



●鼻閉によるいびきがうる
さいといわれ、旅行が
おっくうになる



●喘息発作や痰のからまり
で、「死ぬのではないか」と
思うくらい息苦しくなる



●ちょっとした外出でもだるくなる
週末は家に引きこもりがち



匂いがわからない(嗅覚障害)



●匂い・香りがわからない
ため、食事を楽しめない



●自らの体臭が気になり、
周りに迷惑をかけていな
いか気になる



●ワインが趣味だったが、好きな
ワインの香りがわからなくなり、
日常の楽しみを失ってしまった



●ガスのにおいやおかずの
腐敗など、危険を知らせ
るにおいがわからない



●介護中の母のオムツの
においに気づかず、処理
が遅れがちになる



●匂いがわからないために食事の
楽しみがなくなり、同僚との飲み
会や取引先との会食に参加する
回数が減り、孤独を感じる

鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の炎症と種類

鼻の中の炎症(主に2型炎症)が長引くと、慢性副鼻腔炎の症状が出てきます。また、鼻の中に鼻茸ができて、大きくなってしまいます。



鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎では鼻茸が再発しやすい

鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎は、手術やお薬での治療にもかかわらず、鼻茸が再発してしまうことがあるとされています。



JESRECスタディ:約3年<22.6ヵ月>追跡したデータ:
鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の手術実施後、好酸球性副鼻腔炎だと、23.4~51.8%の割合で再発していました。

慢性副鼻腔炎の種類	鼻茸再発率(約3年の追跡)	
非好酸球性副鼻腔炎	12.7%	
好酸球性副鼻腔炎(軽症)	23.4%	
好酸球性副鼻腔炎(中等症)	31.1%	
好酸球性副鼻腔炎(重症)	51.8%	

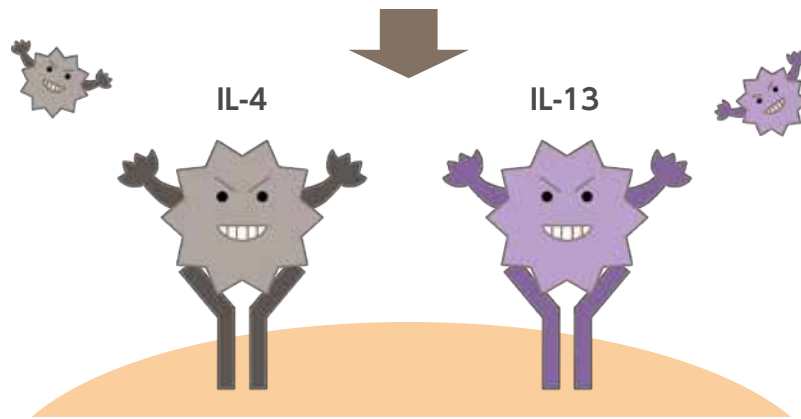
藤枝重治ほか:日耳鼻. 2015; 118: 728-735
 難病情報センター:好酸球性副鼻腔炎(指定難病306)
<https://www.nanbyou.or.jp/entry/4538>[2025年10月1日アクセス]

あなたの鼻・副鼻腔で起きていること

鼻づまりや鼻水、嗅覚障害などのつらい鼻症状。
これらの症状の原因は、あなたの鼻や副鼻腔の中で起きている「炎症」です。
この炎症に、免疫細胞から作られる物質であるIL-4(インターロイキン-4)、IL-13(インターロイキン-13)が深くかかわっています。

慢性副鼻腔炎で起きていること

感染 生活環境 アレルギーなど



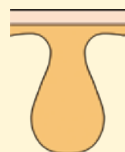
炎症

副鼻腔炎症状



- 鼻づまり
- 匂いがわからない
- 粘り気のある鼻水

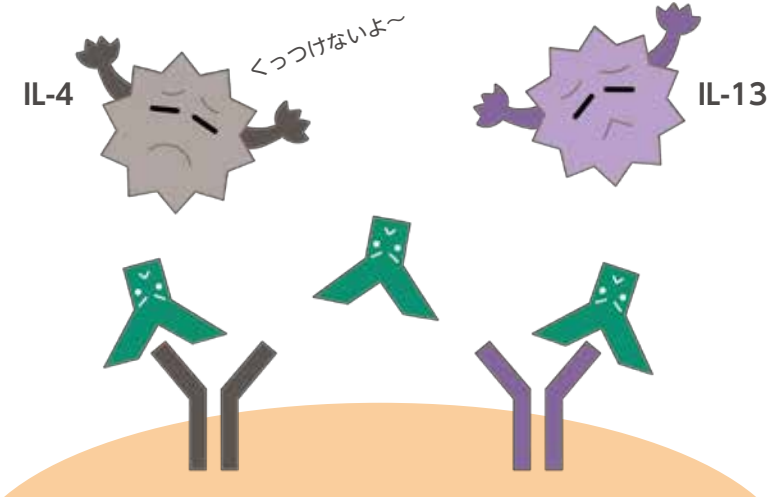
鼻茸の形成



デュピクセント®の働き

デュピクセント®は、IL-4とIL-13の働きをおさえることで、鼻や副鼻腔の炎症をおさえます。
炎症をおさえることにより、鼻茸を小さくするとともに、鼻づまりや匂いがわからないなどの鼻症状を改善する効果が期待できます。

デュピクセント®で治療すると、以下の効果が期待できます



炎症の抑制

副鼻腔炎症状の改善



- 鼻の通りが良くなる
- 匂いを感じやすくなる
- 鼻水の症状が軽くなる

鼻茸の縮小



デュピクセント®の効果

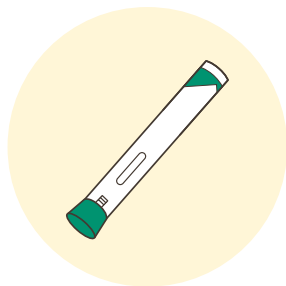
デュピクセント®は、慢性副鼻腔炎の炎症や症状において**中心的な役割を果たしているIL-4とIL-13**の働きをおさえます。

これまでの治療ではうまくコントロールできなかった方でも、デュピクセント®によって治療することで、炎症がおさえられ、**副鼻腔炎の症状が改善したり鼻茸が小さくなる**などの効果が期待できます。

また、デュピクセント®による治療を続けることで、**良い状態を長期にわたって維持する**効果も期待できます。

期待できるデュピクセント®の効果

- 鼻茸を小さくする効果
- 鼻づまりを改善する効果
- 匂いのわかりにくさを改善する効果
- 鼻水を改善する効果 など



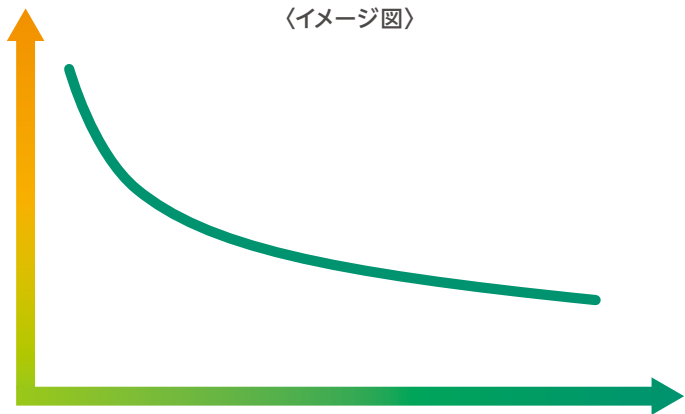
鼻茸が大きい
症状が重い



〈イメージ図〉



鼻茸が小さい
症状が軽い



デュピクセント®による治療期間

デュピクセント®による治療を受けることができる方

投与できる方

全身性ステロイドなどの薬物療法を実施しても症状が改善しない・長期改善状態を維持できない、または手術後に再発した鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の方にご使用いただけます。



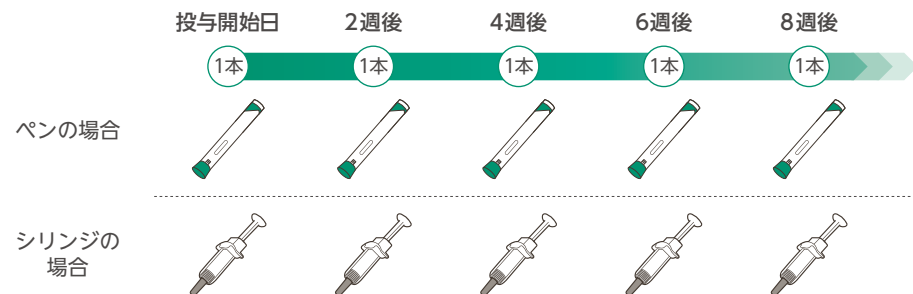
投与に注意が必要な方

- 寄生虫感染のある方
- 生ワクチンを接種する予定のある方
- 妊婦または妊娠している可能性のある方、授乳中の方
- 高齢の方
- 喘息等の他のアレルギー性疾患をお持ちの方

デュピクセント®の治療の進め方

投与スケジュール

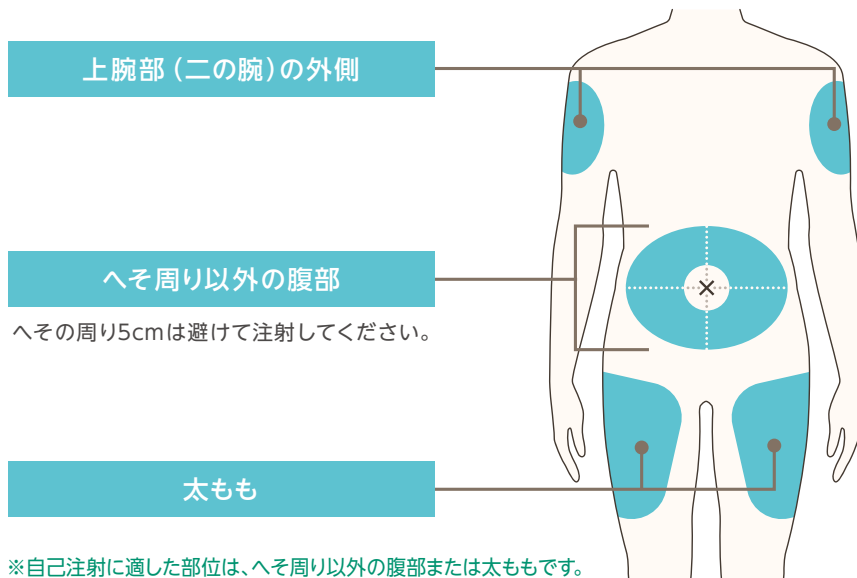
デュピクセント®は、2週間ごとに1本を皮下投与します。
症状が安定した後は、主治医の判断によって、4週間ごとの投与に変更することがあります。
必ず主治医の指示に従ってください。



症状安定後は、医師の判断のもとに、2週間隔または4週間隔で投与します。

投与部位

注射に適した部位は以下の3カ所です。



デュピクセント®は自己注射も可能です

医師の判断のもと、患者さんご自身が注射を行う「自己注射」も可能です。



自己注射のメリット

- 通院にともなう時間的な制約や負担が軽減でき、ご自身のスタイルに合わせて治療することができます。
- 通院日を調整できるので、仕事や旅行などの活動範囲が広がります。



これまでの治療はどうするの？

デュピクセント®を投与する前に続けていた治療やケアがある場合は、自己判断で中止することなく、主治医に相談し、指示に従いましょう。



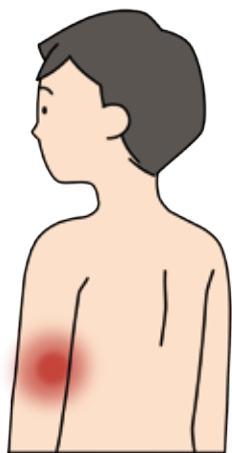
デュピクセント®の安全性について

デュピクセント®の投与により、副作用が起こることがあります。副作用があらわれた場合には、すみやかに主治医または看護師、薬剤師にお伝えください。

▶▶ 予想される主な副作用

注射部位反応

注射をした後に、注射をした部位(腕やお腹、太もも)に、痛みが生じたり、赤く腫れたり、かゆくなったり、出血したりすることがあります。



赤くなる、腫れる



かゆくなる

▶▶ 起こる可能性は低いものの、特に注意が必要な副作用

アナフィラキシー反応による症状

一般的に、お薬を投与してすぐに起こる過敏反応で、次のような症状があらわれます。

- めまい、ふらつき、立ちくらみ、だるさ、意識の低下
- 呼吸困難、呼吸時に「ゼーゼー」音がする
- 腹痛、吐き気、嘔吐
- 皮膚のかゆみ、赤み、腫れ、全身の発疹
- くちびる、舌の腫れ など



日本アレルギー学会：アナフィラキシーガイドライン(第1版)，メディカルレビュー社，2014，p.11より作成

好酸球数の増加による症状

デュピクセント®の投与により、患者さんによっては、血中の好酸球数が一時的に増加することがあります。好酸球がわずかに増えただけでは、症状があらわれることは通常はありませんが、ときに次のような症状があらわれることがあります。

- 咳、発熱、だるさ、息切れ、呼吸困難、呼吸時に「ゼーゼー」音がする、血痰(血液の混じった痰)
- 動悸、息苦しさ
- 発疹、むくみ
- 手足のしびれ、麻痺(動きが悪くなる) など



喘息等のアレルギー性疾患をお持ちの方への注意点

デュピクセント®の投与により、喘息等のアレルギー性疾患の症状が変化する可能性があります。

他のアレルギー性疾患および2型炎症性疾患(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、じんましん、慢性閉塞性肺疾患など)を合併している場合には、必ずデュピクセント®の治療について合併するアレルギー性疾患を担当する医師に相談してください。

自己判断で喘息やアトピー性皮膚炎、じんましんなどの治療薬を減量・中止せず、必ず主治医の指示に従ってください。

慢性副鼻腔炎の主治医へ

喘息の治療で吸入薬を使っています。



喘息等のアレルギー治療薬の使用状況について伝えましょう

喘息等のアレルギー性疾患の主治医へ

慢性副鼻腔炎の治療でデュピクセント®を使い始めました。



デュピクセント®を使用していることを伝えましょう

P.17のポケットカードを提示しましょう

「治療日誌」をつけましょう



投与日の症状を治療日誌に記録し、受診時に主治医に確認してもらいましょう。

治療日誌はデュピクセント®による治療をはじめの際にお渡ししているスターターキットに同封されています。

記入例

投与日の症状について、
0=症状なし
1=軽度(症状はわずかで、気にならない)
2=中等度(わずらわしいが、がまんできる)
3=重度(日常生活をさまたげる、耐えがたい)
のいずれかに○をつけましょう

その他、
気になることがあれば、
記録しておきましょう

投与日 4/1	鼻づまり 0 1 2 ③	匂いがわかりにくい 0 1 2 ③	鼻水 0 1 ② 3	その他 注射したところが赤くなった
副鼻腔炎症状のわずらわしさ 0 _____ 10				

副鼻腔炎症状のわずらわしさの程度(0=気にならない、10=考えられる限りもっともわずらわしい)について、当てはまる位置に縦線を記入しましょう

喘息等のアレルギー性疾患をお持ちの方用 ポケットカード

▼点線に沿って切り取ってください。

喘息等のアレルギー性疾患の治療を受けている患者さんへ

喘息等のアレルギー性疾患の治療を受けている方は、裏面をアレルギー性疾患の主治医にご提示ください。

デュピクセント®投与開始日: _____ 年 月 日

デュピクセント®の投与を受けている

病院名:

担当医師名:

病院の連絡先:

デュピクセント®をもっと知る

デュピクセント®について、もっと詳しく知っていただくための動画をご用意しています。以下の二次元バーコードからご覧ください。

1. デュピクセント®のはたらき



▶ 動画時間:
約2分20秒



2. 自己注射の方法



▶ 動画時間:
約4分40秒



3. スターターキットの紹介



▶ 動画時間:
約2分20秒



4. 知っておきたい医療費の助成制度



▶ 動画時間:
約3分10秒



● シリンジをお使いの方はこちら



● English version

1. Dupixent®
Self-Injection
Procedure



2. How
Dupixent®
Works



▼ 点線に沿って切り取ってください。

喘息等のアレルギー性疾患の治療を行っている医師の方へ

この患者さんは慢性副鼻腔炎治療のために、デュピクセント®の投与を受けることになりました。デュピクセント®はIL-4、IL-13の受容体への結合を抑制するモノクローナル抗体製剤で、本剤の投与により、喘息等の他のアレルギー性疾患の症状に影響を与える可能性があります。患者さんが自己判断で、喘息等のアレルギー性疾患の治療薬を減量、中止しないようご指導ください。

患者さんが利用できる 医療費制度のご紹介

*本情報はすべて令和7年10月時点の情報です。最新の情報は、厚生労働省ホームページ「高額療養費制度を利用される皆さまへ」・「マイナンバーカードの健康保険証利用について」をご参照ください。

医療費の自己負担額を軽減できる制度について知っておきましょう



医療費助成制度について
もっと詳しく知りたい

税金の軽減、自治体からの助成、健康保険組合からの支給など、さまざまな制度を利用できる場合があります。

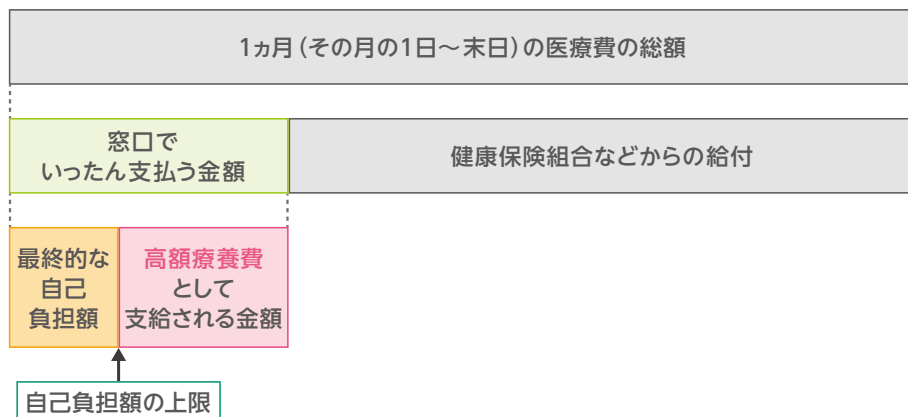
高額療養費制度

医療制度

1ヵ月(その月の1日～末日)の間に医療機関の窓口で支払うべき額(自己負担額)が一定の金額を超えることになった場合、自己負担額に上限が設けられる制度です。上限額は、年齢や世帯の所得により異なります。

⇒お問い合わせ先:ご加入の保険者(健康保険組合など)

高額療養費制度のしくみ



「多数回該当」制度のしくみ

医療制度

継続して高額な医療を受ける必要のある方には、自己負担上限額がさらに引き下げられる制度があります。直近12ヵ月以内に3回以上高額療養費制度の適用を受けた場合(「多数回該当」といいます)、4回目以降の月の自己負担の上限額がさらに引き下げられます。



高額療養費制度を利用するにあたり、マイナンバーカードを健康保険証として使っていない場合は、あらかじめ「限度額適用認定証」を交付してもらう必要があります。加入している健康保険の窓口にご相談ください。

医療費控除

所得税 / 確定申告

生計を一にする家族が1年間(1月1日～12月31日)で支払った医療費の総額が10万円*を超えると、医療費控除を受けることによって、所得状況に応じた還付金を受け取ることができます。

医療費控除を受けるためには、「医療費控除の明細書」を、所得税の確定申告書に添付して最寄りの税務署に提出する必要があります。

⇒お問い合わせ先:最寄りの税務署

医療費控除額の計算方法

$$\left(\begin{array}{l} \text{1年間に支払った} \\ \text{医療費の総額} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金などで} \\ \text{補てんされる金額} \end{array} \right) - 10\text{万円}^* = \text{医療費控除額}$$

*総所得金額などが200万円未満の方は総所得金額などの5%

付加給付制度

健康保険組合などの独自制度

ご加入の公的医療保険によっては、高額療養費制度に上乗せする独自の「付加給付」として、月間の自己負担上限額がさらに低く設定されている場合があります。

⇒お問い合わせ先:ご加入の保険者(健康保険組合など)

指定難病に対する医療費助成制度

医療費助成

国が指定している指定難病と診断された場合、その疾患の治療にかかった医療費に対して、助成を受けられる制度です。

好酸球性副鼻腔炎は指定難病であるため、デュピクセント®を使用している患者さんのうち、好酸球性副鼻腔炎と診断されている方は、医療費助成を受けられる場合があります。

⇒次ページ以降で詳しく解説

指定難病に対する医療費助成制度

指定難病とは？

難病とは、

- ① 発病の機構が明らかでなく
- ② 治療方法が確立していない
- ③ 希少な疾病であって
- ④ 長期の療養を必要とする疾患

のことです。

難病のうち、とくに国が定めた基準に該当する疾患を指定難病といいます。

指定難病と診断された場合、その疾患の治療にかかる医療費の一部が助成されます。

あなたの病気が好酸球性副鼻腔炎の場合、医療費助成の対象となります

好酸球性副鼻腔炎は指定難病に指定されており、一定の基準を満たす患者さんは、医療費の助成を受けることができます。



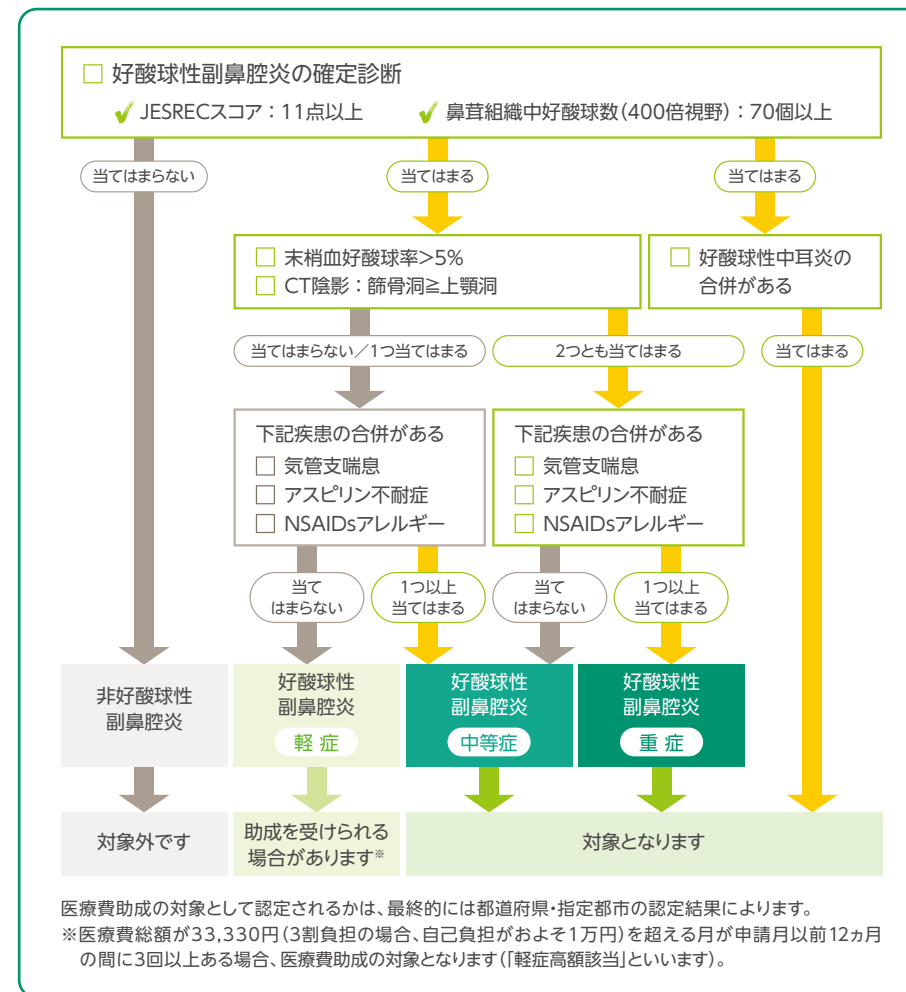
指定難病に対する医療費助成制度 〈対象となる患者〉

指定難病に対する医療費助成制度の対象となるのは、下記のいずれかの方です。

好酸球性副鼻腔炎と確定診断された方のうち、

- ① 中等症または重症の方
- ② 好酸球性中耳炎を合併している方
- ③ 軽症でも高額な医療を継続して受ける必要のある方(軽症高額該当)

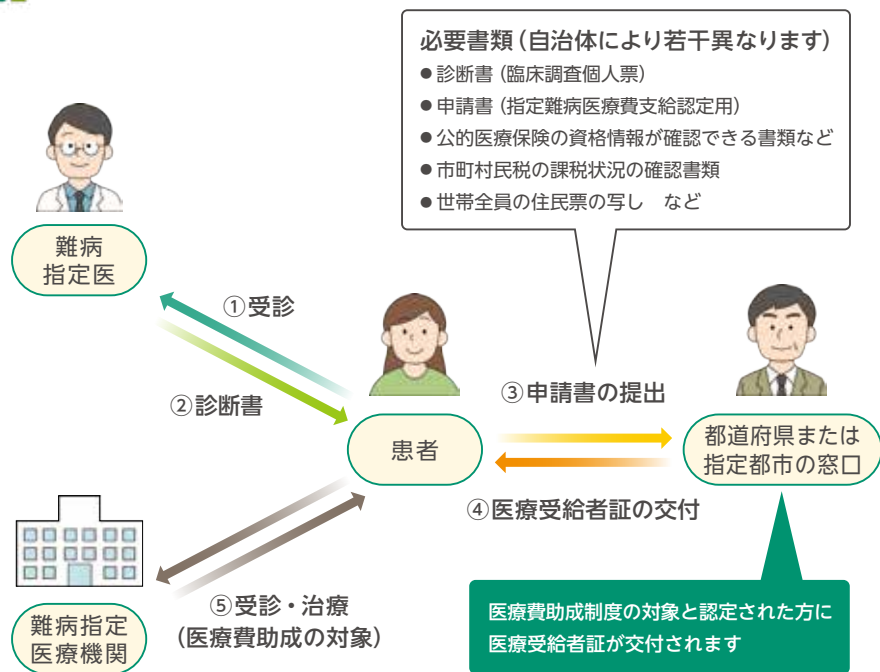
ご自身が下表のどの状態に該当するかは、医師にご確認ください。



指定難病に対する医療費助成制度 〈助成を受けるには〉

医療費の助成を受けるには、あらかじめ、お住まいの都道府県または指定都市に申請し、認定を受ける必要があります。申請には、難病指定医の診断書などが必要です。認定されると、医療受給者証が交付されます。都道府県・指定都市が定める難病指定医療機関を受診する際に、医療受給者証を提示すると、助成制度を使うことができます。

助成を受けるまでの流れ



- ・ 認定には有効期間があります。
- ・ 有効期間を過ぎても助成を受けたい場合は、1年ごとに更新の申請が必要です。

申請の方法や必要書類など詳しくは、お住まいの都道府県か指定都市の窓口にお問い合わせください。

指定難病に対する医療費助成制度 〈自己負担額〉

医療費助成制度を利用すると、医療費の自己負担割合が2割となります。また、世帯の所得に応じて月間の自己負担上限額が決められており、上限額を超えての自己負担は必要ありません。高額な医療を長く継続する場合(高額かつ長期)、一部の方では自己負担上限額がさらに低くなります。

自己負担上限額(月額)

(単位:円)

階層区分	階層区分の基準 (()内の数字は、夫婦2人世帯の場合における年収の目安)		自己負担上限額(外来+入院)(患者負担割合:2割)		
			一般	高額かつ長期*	人工呼吸器等装着者
生活保護	—		0	0	0
低所得 I	市町村民税 非課税 (世帯)	本人年収 ~80万円	2,500	2,500	
低所得 II		本人年収 80万円超~	5,000	5,000	
一般所得 I	市町村民税 課税以上7.1万円未満 (約160万円~約370万円)		10,000	5,000	1,000
一般所得 II	市町村民税 7.1万円以上25.1万円未満 (約370万円~約810万円)		20,000	10,000	
上位所得	市町村民税 25.1万円以上 (約810万円~)		30,000	20,000	
入院時の食費			全額自己負担		

※高額かつ長期の対象となるのは、認定を受けた指定難病の治療にかかる医療費総額が5万円を超える月が年間6回以上ある場合です。

指定難病に対する医療費助成制度 〈自己負担上限額の管理〉

指定難病の治療では、複数の医療機関を受診したり、院外の調剤薬局でお薬を受け取ることがありますが、**医療費の助成を受けられるのは、あらかじめ都道府県等から指定を受けた医療機関(病院・診療所、薬局、訪問看護ステーション)で、指定難病の治療を受けた場合**に限られます。

また複数の病院を受診したり、院外の調剤薬局でお薬を受け取る場合、1つの医療機関での自己負担額が上限額を超えない場合でも、複数の医療機関での自己負担額の合算額が上限額を超えれば、医療費助成制度の対象となります。

そのため、自己負担額は、医療受給者証と一緒に交付される「**自己負担上限額管理票**」に記録し、管理することになっています。

医療機関で医療費を支払う際、医療機関が医療費の総額と自己負担額を記入します。合算額が自己負担上限額に達すると、その月のそれ以降の自己負担はなくなります。

令和7年2月分自己負担上限額管理票					
受診者名	〇〇△△	受診者番号	0012345		
月間自己負担上限額			10,000	円	
日付	指定医療機関名	医療費総額 (10割分)	自己負担額	自己負担の累積額 (月額)	徴収印
2月1日	〇〇〇病院	30,000円	6,000円	6,000円	印
2月1日	××薬局	6,000円	1,200円	7,200円	印
2月20日	〇〇〇病院	25,000円	2,800円	10,000円	印
2月20日	××薬局	4,000円			
上記のとおり月間自己負担上限額に達しました。					
日付	指定医療機関名				確認印
2月20日	〇〇〇病院				印

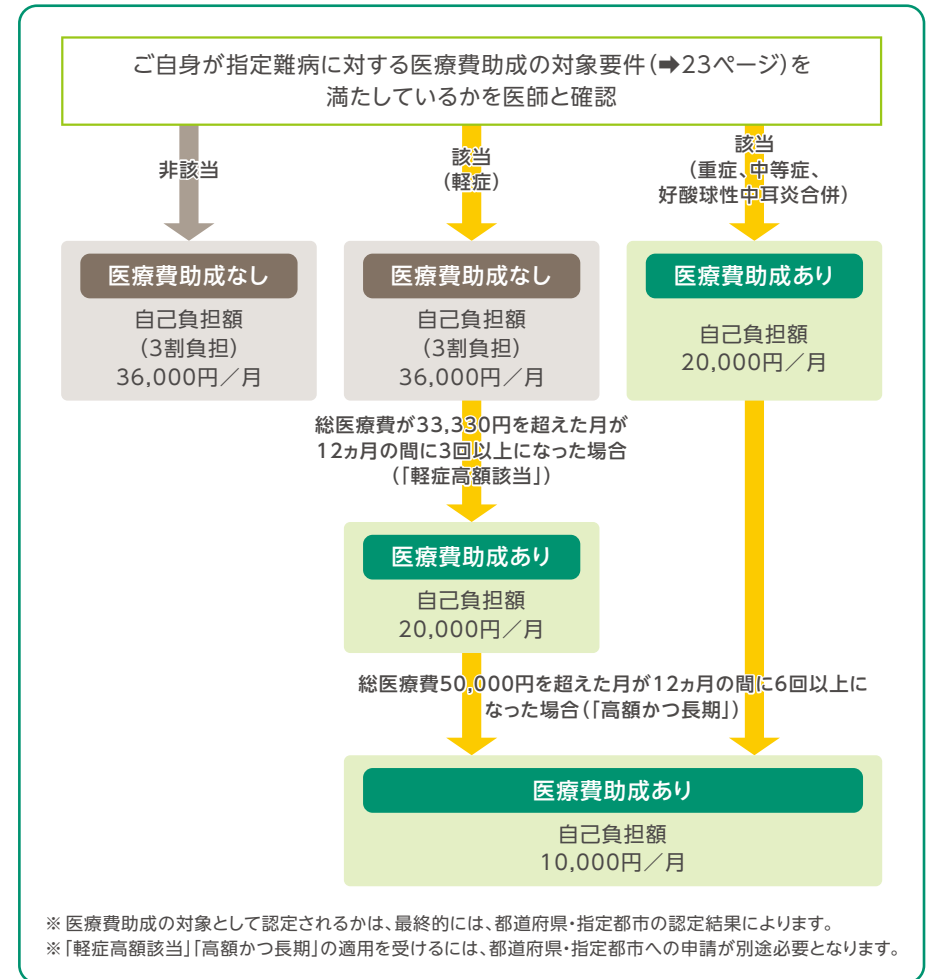
※自己負担上限額管理票の書式は、都道府県や指定都市によって異なります(上記は参考です)。

デュピクセント®を使用した場合の 自己負担額〈モデルケース〉



年収450万円
40歳

医療費(診療費+薬剤費)	120,000円
自己負担額(3割負担)	36,000円
(2割負担)	24,000円



デュピクセント®による治療に関するQ&A

Q デュピクセント®を投与したらすぐに効果を感じますか？

効果には個人差があります。自覚症状だけでなく、定期的に血液検査や内視鏡検査などで鼻の中の状態などを調べ、主治医が効果を判断します。

Q デュピクセント®以外のお薬を使用しても大丈夫ですか？

主治医や薬剤師に相談しましょう。特に他のアレルギー性疾患（喘息やアトピー性皮膚炎、じんましんなど）を治療中の方は症状が変化する場合があります。他の医療機関を受診した際は、デュピクセント®を使用していることを医師に伝えてください。

Q 生物学的製剤とはどのようなものですか？

生物学的製剤は、バイオテクノロジーによって作られた比較的新しい医薬品で、これまでの治療でコントロールできない患者さんに効果が期待できる注射薬です。抗体というタンパク質でできており、炎症を引き起こす原因の物質をおさえます。デュピクセント®は、IL-4とIL-13という炎症に中心的な役割を果たしている2つのサイトカインの働きを両方おさえることで、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎による症状を改善するお薬です。

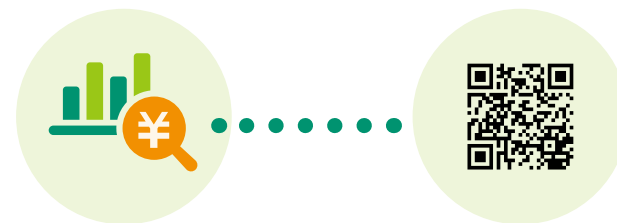
Q 副作用が心配なのですが、必ず起こるものでしょうか？

どんなお薬にも副作用はありますが、デュピクセント®の比較的良好に起こる副作用として注射部位反応があります。特に注意が必要な副作用に関しても、少しでも体調がおかしいと思ったら、すぐ主治医に相談するように心がけましょう。

Q デュピクセント®による治療の費用はどのくらいですか？

治療にかかる費用は、患者さんによって異なります。あなたの病気が好酸球性副鼻腔炎の場合、医療費助成の対象となることがあります。好酸球性副鼻腔炎は国の指定難病に定められており、一定の基準を満たす患者さんは、医療費の助成を受けることができます。「薬剤費シミュレーション」では、目安の費用を確認することができます。

薬剤費シミュレーションにアクセス



Q デュピクセント®による治療はいつまで続けるものですか？

鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の治療では、「**ステロイドの飲み薬に頼らず、鼻づまりや嗅覚障害の症状がない状態を続けること**」が一つの治療の目標とされています。つまり、鼻がスッキリ通って呼吸が楽になること、また、匂いがわかるようになり、その良い状態を長く続けることを目指します。ご自身がどんな状態を目指したいか、主治医と一緒に話し合ってみてください。症状が落ち着いてきても、治療を続けることで良い状態を保ちやすくなります。もし治療の中止を考える場合は、メリットやデメリットについて主治医と十分に相談することが大切です。

これからデュピクセント®をはじめの患者さんのためのサポート資材

スターターキット

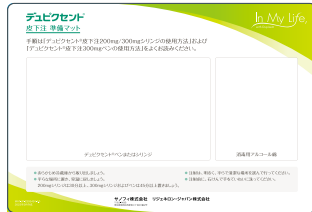
デュピクセント® 自己注射のためのガイドブック



デュピクセント® 治療日誌



準備マット



専用保冷バッグ

お薬を持ち運ぶための保冷機能がついたバッグです。

廃棄バッグ

使用済みの注射器を廃棄するための専用のバッグです。

お役立ちツール

治療日誌や、注射器を飛行機に持ち込む際の薬剤携行証明書などをダウンロードできます。



薬剤費シミュレーション

デュピクセント®の薬剤費の目安や高額療養費制度を利用した場合のシミュレーションをご覧ください。



治療生活の 新しいパートナー 「MyWay」アプリ

デュピクセントを使用される患者さんのためのアプリ「MyWay」が登場。注射や費用についての疑問解消、予定管理もこれひとつ。安心して治療を続けられるように、いつでも手もとでサポートします。



- 自己注射のリマインダー
- 自己注射ガイド
- 治療日誌
- 学習コンテンツ
- 身の回りの環境情報
- お問い合わせ

「MyWay」アプリのはじめ方



STEP 1 アプリをダウンロードして登録コードを入力

4 9 7 0 0 6

STEP 2 アカウントを作成
メールアドレスとパスワードを設定し、デュピクセントの処方内容を入力してください。

STEP 3 さあ、はじめよう!

※現在、18歳以上の患者さんがご利用いただけます。